

これからの関東甲越支部活動



東京都市大学 松浦 治明



1

2026年4月10日 NUMO 三田本社

まずはこの活動に導いてくださった岡田佳子先生に感謝！

別紙2

日本原子力学会 関東・甲越支部 歴代幹事

年度	H12 2000	13 2001	14 2002	15 2003	16 2004	17 2005	18 2006	19 2007	20 2008	21 2009	22 2010	23 2011	24 2012	25 2013	26 2014	27 2015	28 2016	29 2017	30 2018	R1 2019	2 2020	3 2021	4 2022	2022年2月現在																																									
支部長	山崎道夫(F(東京大学))					教士幸夫(F(原子力安全技術センター))					関本博(F(東京工業大学))					吉田正(F(東京都市大))					井頌政之(F(東京工業大学))					岡田佳子(F(東京都市))					武田哲明(山梨大学)																																		
副支部長						藤井靖彦(東京工業大学)					関本博(F(東京工業大学))					表彰小委員長					勝村康介(F(東京大学))					笠原直人(F(東京大学))					松崎浩之(東京大学)																																		
幹事	前田克(日本原子力研)					教士幸夫(F(日本原子力研究所))					野田健治(JAEA)					岡田潔平(JAEA)					南波秀樹(JAEA)					表彰小委員長					玉田正男(JAEA/QST)					田口(JAEA/QST)																													
	根本聡明(F(東京電力))					武黒一郎(東京電力)					武藤栄(F(東京電))					小森明生(東電)					物理小委員長					角山茂章(F(東芝))					豊増洋一(F(三菱重工))					鈴木成光(三菱重工)					津山直(三菱重工)					内田光彦(三菱重工)					峯雅夫(日立GE)					田辺 朗(東芝)					松澤 寛(三菱重工)				
	有富正憲(F(東京工業大学))					企画委員長					鈴木正昭(F(東京工業大学))					井頌政之(F(東京工業大学))					企画小委員長					木倉宏也(東京工業大学)																																							
	横地明(F(東海大学))					新堀支局長					吉田茂生(F(東海大学))																																																						
	根本哲夫(F(新潟大学))					今泉洋(新潟大学)															武田哲明(山梨大学)					新井剛(芝浦工業大学)																																							
	吉田正(F(武蔵工業大学))					給券小委員長															鈴木達也(長岡技術科大)																																												
	唐澤俊樹(東京電力)										戸田新典(F(東京電力))															後藤正治(東京電力HD)																																							
						黒田雄二(F(日本原電))					菊込敬(日本原電)															広瀬小委員長																																							
	横山達一(F(電力中央研究所))					講演・懇話会担当					木下泉(F(電中研))					越田伸幸(F(電中研))					笠原昭博(電中研)																																												
	中平弘(F(住友原子力工業))					富永研司(F(日立))					企画委員長										内田光彦(三菱重工)					吉津達弘(三菱重工)					松澤寛(三菱重工)					河村真一郎(東芝ESS)					吉田拓真(日立GE)					菅原昭博(電中研)					会計担当														
	須藤亮(F(東芝))					河野豊(日本エヌ・ユー・エス)					池田孝夫(日揮)					佐々木憲明(FJNES)					根木敏(日揮)					新井剛(F(早稲田大))					吉谷正祐(早稲田大学)																																		
																新井剛(F(芝浦工大))					松浦治明(東京都市大学)										松澤寛(三菱重工)					榎合博則(電中研)																													
監査	横地明(F(東海大学))					草薨秀雄(F(電力中央研究所))					吉田正(F(武蔵工業大学))					岡田佳子(F(東京都市))					岡田佳子(F(東京都市大))																																												
電費は22年 度で確定	井上正(F(電力中央研究所))					斉藤荘蔵(日立)					小澤通裕(日立)					峯雅夫(日立GE)					峯雅夫(日立GE)					坂本浩一(日立)					持田真樹(日立)					峯雅夫(日立GE)					吉田拓真(日立GE)																								
事務局	東京電力					電力中央研究所					日本原電					東芝					三菱重工					日立GE					電力中央研究所					東芝					三菱重工					日立																			

支部活動の四本柱

- ・原子力オープンスクール
- ・若手技術者研究者発表討論会
- ・学生研究発表会
- ・見学会

それぞれにWG長を付け、分担して進める

統計データオープンスクール 実績（コロナ禍前）

開催日			開催場所	参加者数 [名]	
H20	2008	8月3日	三菱みなとみらい技術館 〔科研費〕	1057	
H21	2009	8月2日	電力館（渋谷） 〔科研費〕	1318	
H22	2010	7月31日	電力館（渋谷） 〔科研費〕	2598	
		8月1日			
H23	2011	8月21日	科学技術館（竹橋）	>1500	
H24	2012	7月28日	科学技術館（竹橋）		
		7月29日			
H25	2013	7月27日	科学技術館（竹橋）		
		7月28日			
H26	2014	7月26日	科学技術館（竹橋）		
		7月27日			
		8月24日			1100
H27	2015	7月25日	科学技術館（竹橋）		
		7月26日			
H28	2016	7月30日	科学技術館（竹橋）	450	
		7月31日			
H29	2017	7月29日	科学技術館（竹橋）	900	
		7月30日			
		8月13日			〔科研費〕
		10月1日			東芝未来科学館（川崎） 〔会員獲得・原子力理解活動〕
H30	2018	7月28日	科学技術館（竹橋）	2500	
		7月29日			
		8月18日			東芝未来科学館（川崎）
		8月19日			〔会員獲得・原子力理解活動〕
R1	2019	8月23日	東芝未来科学館（川崎）		
		8月24日			

- ・主に科学技術館にて科学の祭典全国大会に参加
→内容は小型霧箱と天然試料の放射線測定に限定
- ・H30から東芝未来科学館、発電模型や大型霧箱導入、ベントナイト実験もこのころより同時開催、スタンプラリー、スーパードクターの賞状配布

統計データオープンスクール 実績（コロナ禍後）

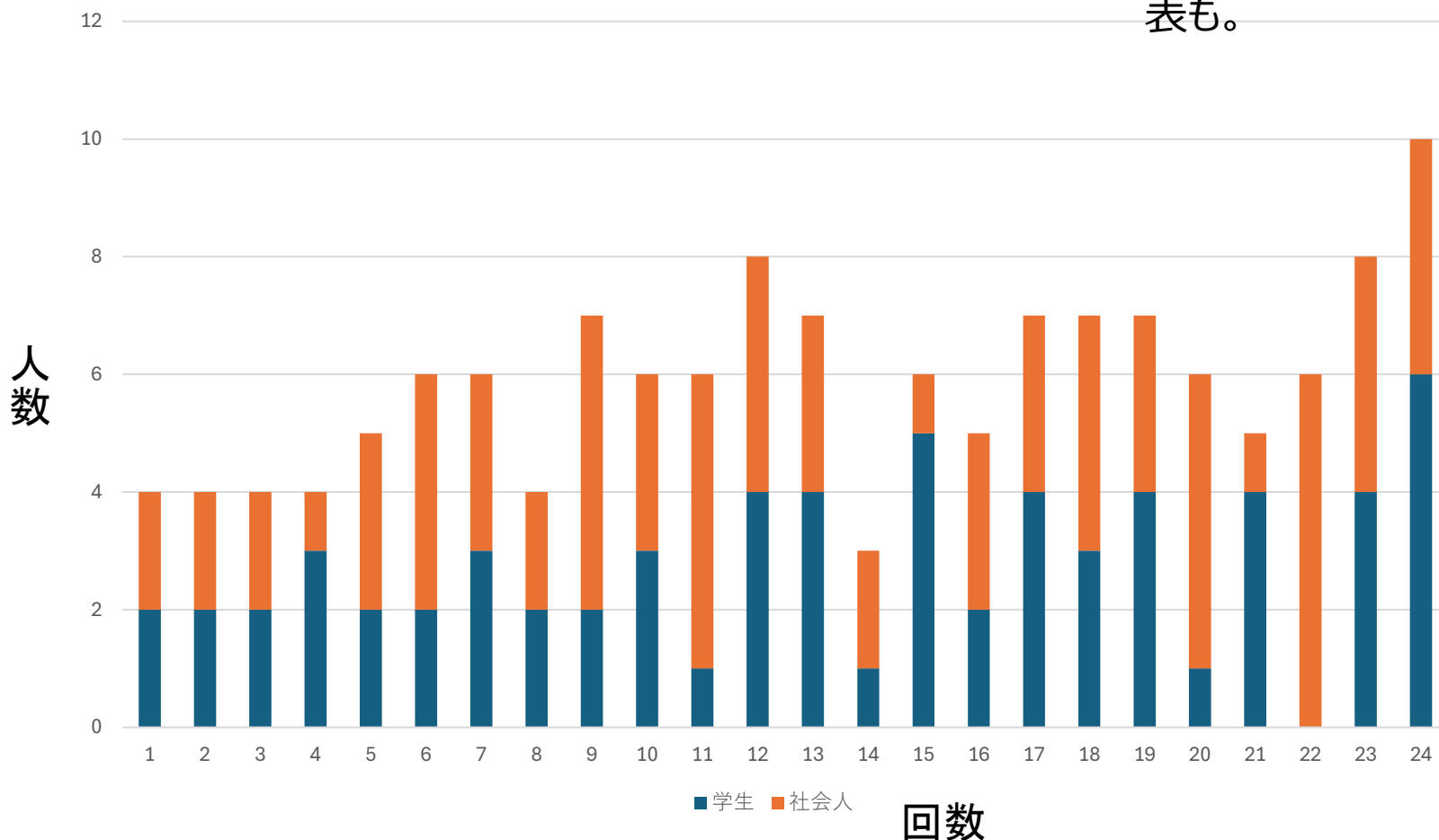
R2	2020		なし	
R3	2021	8月20日	東芝延期	
		11月6日	科学技術館	
		11月7日		
		11月13日	科学の祭典 山梨大会	
		11月14日		
R4	2022	8月18日	東芝未来科学館	
		8月19日		
		11月12日	山梨大会	
		11月13日		
		11月26日	上越大会	
		11月27日		
R5	2023	8月17日	東芝未来科学館	
		8月18日		
		9月16日	燕弥彦大会	60
		9月17日		59
		11月11日	山梨大会	
		11月12日		
R6	2024	8月22日	三菱みなとみらい技術館	230
		8月23日		223
		9月7日	燕弥彦大会	88
		9月8日		95
		11月16日	山梨大会	
		11月17日		84
		11月23日	上越大会	
		11月24日		
R7	2025	8月21日	三菱みなとみらい技術館	300
		8月22日		220
		9月6日	燕弥彦大会	
		9月7日		
		11月8日	山梨大会	
		11月9日		
		11月29日	上越大会	133
		11月30日		150

- ・2020年はなし
- ・2021年東芝延期のあとなんとか科学技術館会場にて単独開催、科学の祭典山梨大会に出展
- ・翌年より上越大会、その翌年燕弥彦大会と科学の祭典地方大会に参加するようになる。
- ・2024年東芝会場の閉鎖に伴い、三菱みなとみらい技術館に開催場所変更、ベントナイト実験との併催は必ず年2回は行う。事前予約制は無くなり、コロナ前の流し込み式に完全に戻る。

若手技術者研究者討論会実績

- ・コロナ禍にも関わらず、オンライン2年をはさんで毎年実施。
- ・社会人>学生ではあるが学生も健闘
- ・2025年は高校生の発表も。

若手技術者研究者発表討論会受賞者推移



学生研究発表討論会実績

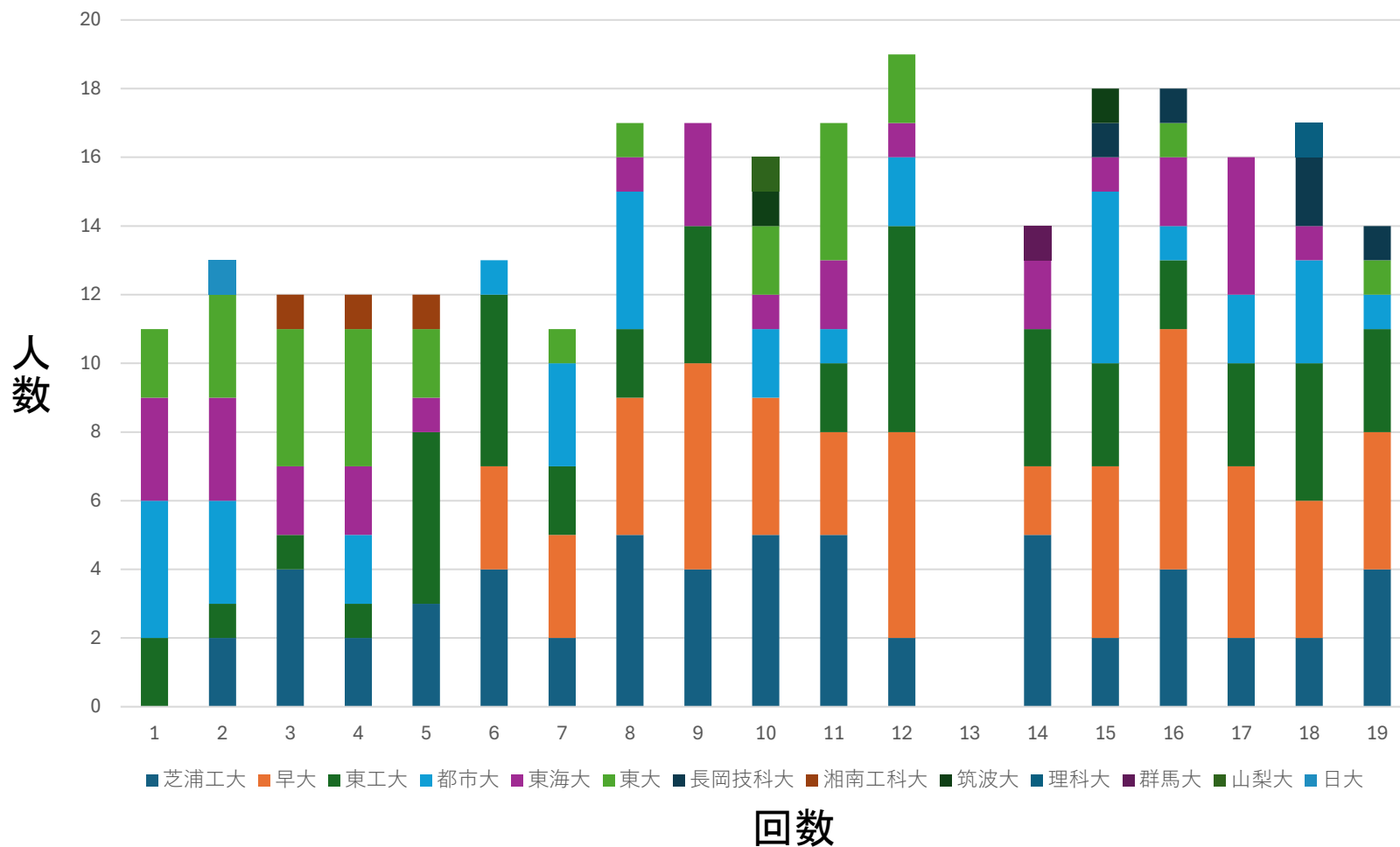
回数	開催日		開催場所
1		2008 3月14日	武蔵工大
2		2009 3月13日	東海大
3		2010 3月12日	東大
4		2011 3月11日	芝浦工大
5		2012 3月9日	湘南工科大
6		2013 3月7日	東工大
7		2014 2月28日	早大
8		2015 3月6日	都市大
9	H27	2016 3月1日	東海大
10	H28	2017 3月10日	芝浦工大
11	H29	2018 3月1日	東大
12	H30	2019 3月8日	東工大
13	R1	2020 3月6日	山梨大中止
14	R2	2021 3月4日	山梨大オンライン
15	R3	2022 3月1日	早大オンライン
16	R4	2023 3月1日	長岡技科大
17	R5	2024 3月8日	東海大
18	R6	2025 2月28日	都市大
19	R7	2026 3月6日	芝浦工大

- ・2008年武蔵工大より開催
- ・2011年はまさに大地震にも関わらず最後まで実施
- ・ラウンドも関東だけでなく、甲越にも会場を移して実施、コロナ禍で直前まで開催予定であったがやむなく中止

学生研究発表討論会実績

- ・2011年以降コロナ禍前まで件数はむしろ増えていた。
- ・コロナ禍後2回はオンラインで、対面に戻した長岡の時点でコロナ禍前の水準にほぼ戻った。

学生研究発表会受賞者数内訳推移



見学会実績

- 2017年12月13日 電中研横須賀地区＋GNFJ
- 2018年6月7日 電中研我孫子地区、8月27－28日 JAEAおよび東電福島第一原発
- 2019年11月13日 東芝ESS 20名
- コロナ禍で2年中断
- 2022年7月4日 電中研横須賀地区 30名
- 2023年7月4日 電中研我孫子地区 30名
- 2024年7月10日 QST高崎研 25名
- 2025年6月18日 JAEA東海研 20名
- 2026年6月17日 QST量子医科学研究所 20名予定

・コロナ禍で会社見学がしにくくなったが、研究所等が受け皿となってくれた。

2026年度は科学の祭典地方大会を全制覇

2026年度 日本原子力学会 関東・甲越支部 活動計画(案) 赤は日程確定

2026年4月6日

No.	項目	実行委員	2026年度												2027年度	備考	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
	支部協議委員会			▽5/15? 第1回支部協議委員会 (Web)									▽12月 第2回支部協議委員会 (Web?)				
	支部大会	事務局	▽4/10 支部大会 (三田)					支部大会の日時、場所の選定、予約						2025年度支部フェロー候補推薦			▽4月 支部大会 (都市大)
	支部幹事会	事務局							▽10/27 支部幹事会 第1回						▽2/20 第2回▽2月 支部賞承認		
	表彰小委員会	表彰小委員長 松崎先生							▽10月 支部賞募集 (翌年1月 締切)				▽1月 支部賞応募締切	▽2月下旬 学生発表会 審査協力			▽4月 支部賞表彰式 (支部大会)
	企画小委員会	企画小委員長 松浦	▽4/10 第1回 (ハイブリッド)				▽7/7 第2回 (Web)		▽10/27 第3回 (Web)				▽1/20 第4回 (Web)				▽4月 2026年度 第1回
1	見学会/講演会 Atoms for Future	企画小委員長 事務局	4月告知	5/16×切		▽6/17 (放医研)											
2	原子力オープンスクール (青少年のための科学の祭典)	OS担当長 羽倉先生	3/31千葉OS エントリー	▽5/? 学会本部OS 小委員会 5/8神奈川大会エントリー	6/13-14千葉大会		8/9神奈川大会	9/6-7? 科学の祭典 燕弥彦大会	9月-10月 科学の祭典 山梨大会	11/28-29 科学の祭典 上越大会							
3	原子力オープンスクール	OS担当長 羽倉先生	▽4月下旬 科研費補助金内定後の登録申請		▽6/4 第1回 OSWG (Web)		▽8/1 NUMO事前講義 8/20-21 OS(横浜) (みなとみらい技術館)	9月 科研費申請							2月下旬 採択可否通知		
4	若手研究者発表討論会	若手発表長 石塚先生					▽7/7 第1回 若手発表 WG	▽8月下旬 募集 WEBアップ		▽10/17 申込締切 10/24 第2回 若手発表 WG 10/31 予稿締切			▽11/5若手研究者・技術者発表討論会@科学大 大岡山				優秀発表学生2名を2026年春の年会あるいは2027年秋の大会への参加支援
5	学生研究発表会	学生発表長 松崎先生	2025年度若手研究者発表会および学生研究発表会優秀発表学生									▽1月 募集 WEBアップ 学生発表 WG	▽2月中旬 参加締切り 予稿締切	▽3/6? 学生研究発表会(東大)		最優秀の大学院生、学部生各1名を2027年秋と春大会への参加支援	
6	年会・大会への学生参加支援	事務局 (若手研究者発表討論会) (学生研究発表会)						▽9/9-11 原子力学会 秋の大会 (愛媛)						ポスター支援 申請	▽3/17-19 原子力学会 春の年会 (科学大)		

「コロナ禍」を境に

- 運営に必要な会議、打ち合わせがオンラインで済む。
- すべてのイベントはコロナ禍以前の規模に戻る。
- オープンスクール等では、2011年より15年が経過し、かなり原子力に対する風向きが変化し、原子力放射線に対して前向きに理解していただける下地ができてきた。特に地方大会で。
- 助力いただく学生数は業務規模に応じて最適化が図られつつある。甲越地区では現地スタッフの対応が増えた。
- 学生のプレゼン技術は年々アップしており、かなり優秀なプレゼンを展開しないと受賞できなくなった。

今後は持続可能性の模索を続ける

- やはり「継続は力なり」。続けることが重要
- イベントマネジメントの効率化、省力化の努力をする。誰が引き継いでもこなせるように。
- 学生アルバイト、できるだけ多くの学生に体験してもらおう。指導技術の継承。
- 若手技術者研究者討論会発表者を他支部からスカウトする。特に北関東や中部など。高専、高校生の発表件数を増やす。
- オープンスクール題材の内容の充実。スタンプ「ラリー」らしくする。
- イベントや委員会後の懇親の場、学生間の交流を促す。

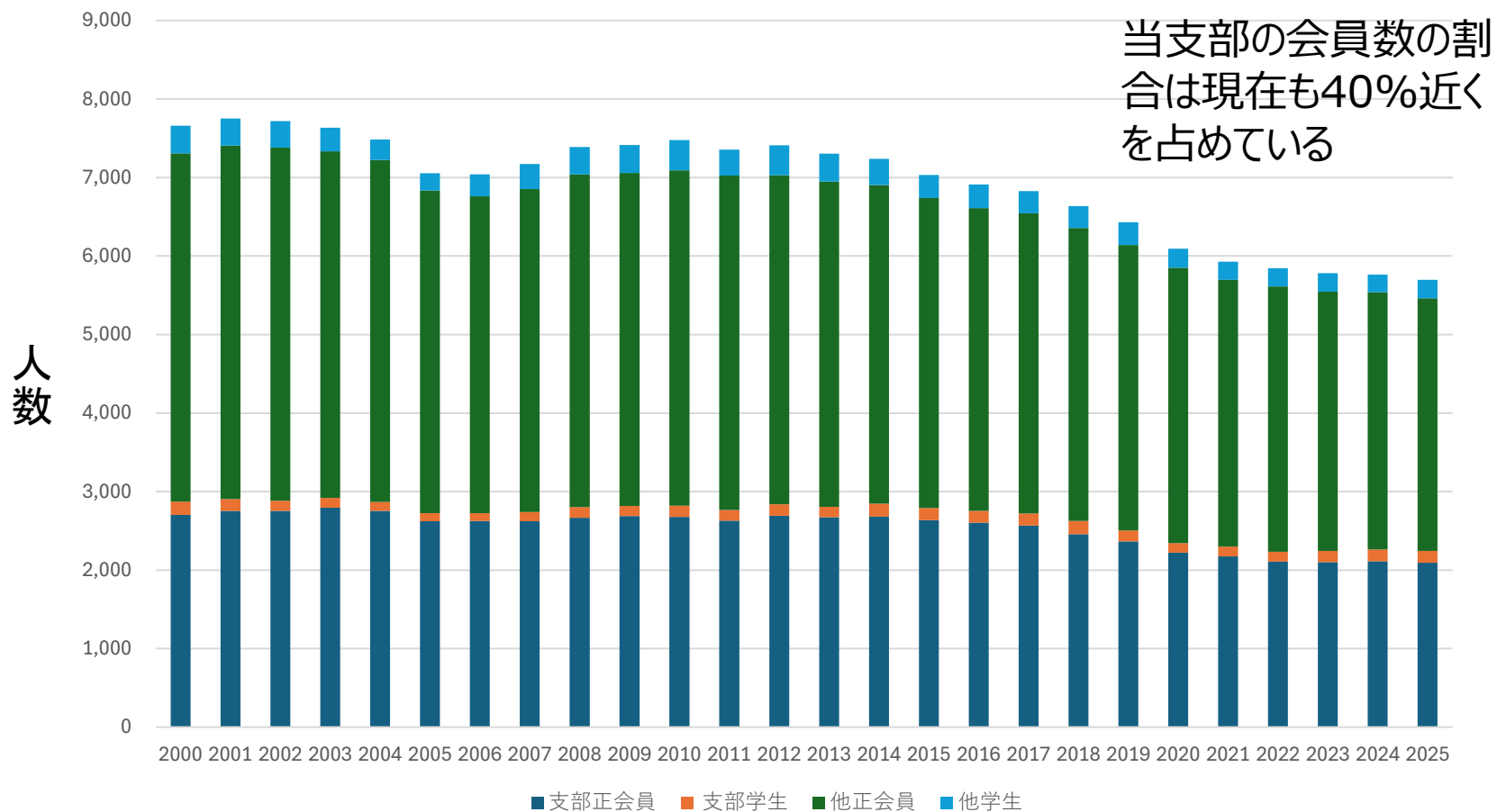
再び謝辞

- 歴代支部長、特に井頭、岡田、武田、吉田先生
- 歴代事務局、特に小職初期の頃の東芝藤井様、その後は電中研笹原様
- OS担当の羽倉先生
- 若手担当の高橋先生
- 学生研究発表会会場を世話された先生方および学生さん
- 関東甲越支部地区の学生の皆さん、筑波大の皆さん
- 今後もよろしくご支援賜りますと幸いです。

付録

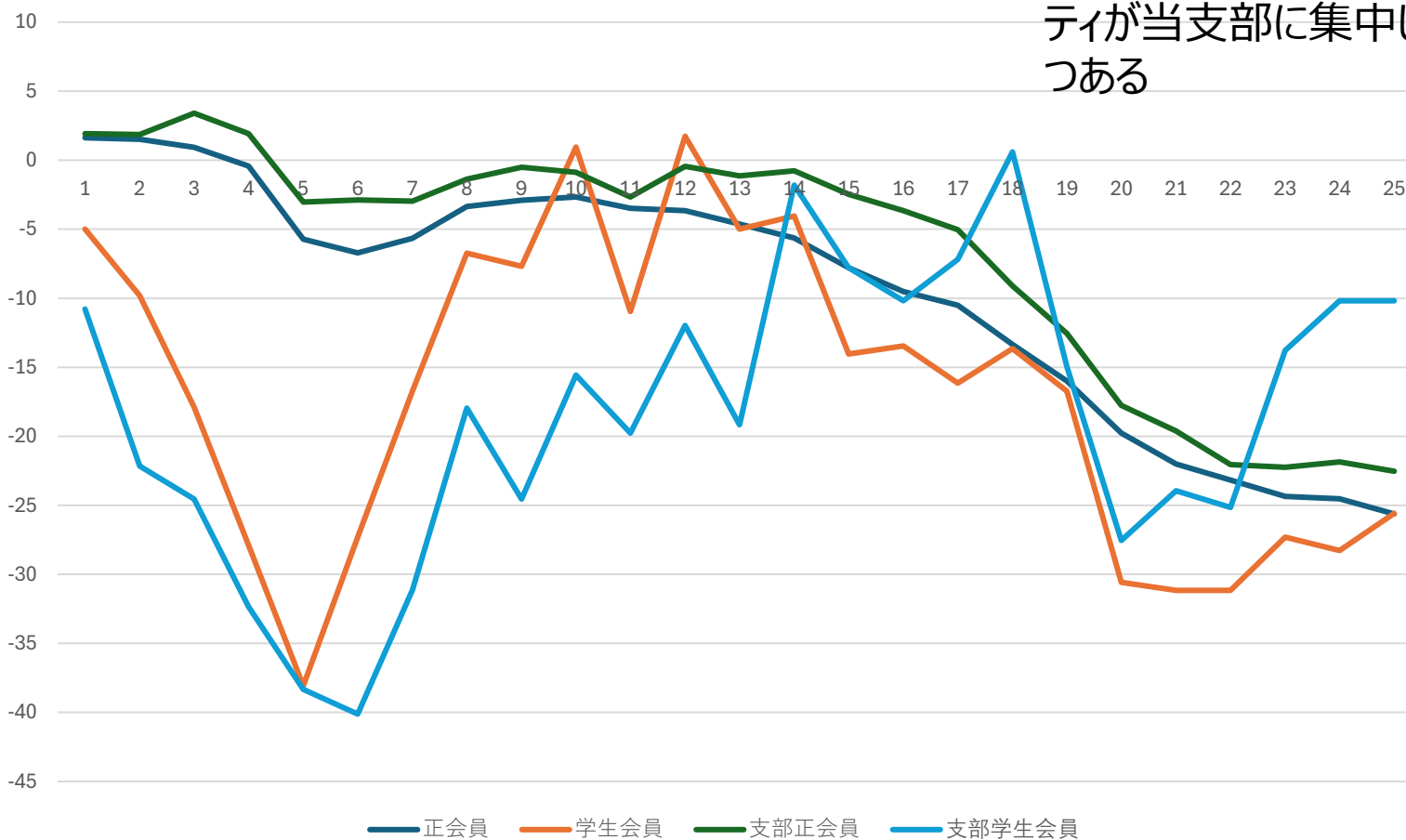
関東甲越支部会員数推移

原子力学会会員数



関東甲越支部会員数推移

2000年比



当支部の「学生会員数」は近年むしろ増加傾向にある。=大学のアクティビティが当支部に集中しつつある